

の ざと しょう がっ こう 野里小学校

所在地	〒555-0024 西淀川区野里2丁目21番13号
電話	06-6473-0301
HPアドレス	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e631361
校長名	芦高 浩一
児童数・学級数	212名・11学級（特別支援学級3）
標準服	あり



学校概要

大正9年(1920年)に香篋第二小学校として開校されましたが、それより40年前の明治7年(1874年)から西成郡第五区第六番野里小学としての学校がありました。そのころの野里は、住吉神社を中心に、150軒ほどの家が集まった村でした。村のまわりは、見渡す限りの田畑で、はるか向こうに六甲山や大阪湾がよく見えたそうです。また、昭和の初めごろには神社の北西にあった学校を現在の場所にゴロゴロと引っ張って行って立てたそうです。その後、どの子もすくすくとよい子に育つように、講堂を建て力を合わせて学校を大事にされながら現在に至っています。まさに「野里の町の学校」であり、令和2(2020)年に創立100周年を迎え、令和6(2024)年に校舎改築が完了しました。本校では、地域・PTAとの話し合いの上で、ブラウン系の標準服を使用しています。

1 全国学力・学習状況調査の結果及び概要（令和6年度 6年生の調査結果）

国語	算数
70%	65%
国語 無回答率	算数 無回答率
1.72%	2.01%

国語の平均正答率は70.0%で、大阪府より4.0%、全国より2.3%上回った。算数の平均正答率は65.0%で、大阪府より2.0%、全国より1.6%上回った。また、無回答率がとても低く、最後まで粘り強く物事に取り組む力が育ってきている。国語では、理由や根拠を明確にして自分の考えをまとめ、わかりやすく文章にし、主体的対話的な学習を進めている。算数では、「解けた。」「わかった。」「できた。」体験を多く経験することで、主体的に取り組み、解決できる能力を育てている。

2 全国体力・運動能力などの結果および概要等（令和6年度 5年生の調査結果）

	種目別平均								
	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	15.22	23.88	33.35	41.35	47.59	9.21	159.76	18.31	54.13
女子	14.08	20.00	41.33	41.54	36.92	9.74	153.04	11.71	55.67

今回の調査では、男女ともに体力合計点が全国平均を上回った。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問には、すべての男子が肯定的に答えており、全国と比べ7.0%ほど回答率が高かった。一方で、女子では70.9%が肯定的に回答しているが、全国平均よりも15.7%低い結果となっている。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子で0%と、習い事や放課後遊びなどで体を動かしていることが分かる。また、女子は12.5%と全国に比べて3.5%低い割合となっており、全国平均と比べて女子も運動量が多い。

校舎建て替えによって運動場が使えない状況が続いたが、中休みとお昼休みを20分休憩として講堂を開放し、また、なわとび週間やダンス週間を行い、運動に対する興味・関心を高めている。令和6年2学期より運動場が全面使用可能となり、講堂の開放やストラックアウトの設置等、子どもたちが運動に取り組む環境整備が続いている。

3 令和7年度の学級・児童数

令和7年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	33	27	32	35	40	45	212
学級数	1	1	1	1	2	2	8

教育目標

豊かな人間性を育み、「正しく仲よくたくましく生きぬく子どもを育てる」を学校教育目標に掲げ、教職員が一丸となって教育活動を進めている。「一生懸命考える子、心豊かな子、元気な子、仲間を大切にする子、気持ちよくあいさつする子」の育成を目指し、子どもたちのもつ「力」や一人一人のよさ、可能性を伸ばし、豊かな人間性を育む教育活動を展開している。

また、「自分の考えや思いを自分のことばで話すことができる」子どもを育成するため、学習全般を通して話し合い活動の充実を図り、「聞く力、話す力」や表現力を高めることを目標に取り組んできた。

令和7年度は国語科研究の初年次として、「『書くこと』で自ら学びを広げ深める国語科学習指導～説明的な文章の実践を例にして」を研究主題として進める。話し合う力を前提として、書くことで自分の思いを明確に伝えられる子どもの育成をめざしつつ、実践を進める。今後さらに、望ましい人間関係の構築を図り、めまぐるしく変化する社会の中で、子どもたちが「生きぬく力」を身につけ、成長することを願っている。

○野里小のめざす子ども像

㊦ 野のように広い心をもつ子 ㊧ 雑草のようにたくましい子 ㊨ 友だちを大切にする子

○学校運営に関する計画（令和7年度 本校の年度目標）

【安全・安心な教育の推進】

小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85.5%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を38.0%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の51.0%以上にする。
(ただし事務局が定める学校行事等ICTが適用されない日を除く)

学校の特色や取り組み

本校では、授業における「見通し・振り返り学習活動」を大切にし、継続的に指導・支援・助言を積み重ねることで学向上に努め、意欲をもって学習できることを目標としている。また、学習活動に話し合い活動を取り入れることで、「自分の考えや思いを自分のことばで話すことができる」児童の育成をめざしている。

この目標のもと、教職員一丸となって教育活動に取り組んでいる。さらに、「話す力、聞く力」を身につけることで言語力の育成を図り、自分の考えを具体的に組み立てる力を身につけさせたいと考える。

また、表現活動を高める学習では、一人一人に書く力・表現する力が身につくよう指導している。教員は、個々の児童が学習のどの部分に課題があるのかを把握したり、その課題解決のためにどのような手立てが効果的なのかを吟味したりすることで、児童にとって最適な学習方法を工夫している。



「入学式」

小学校生活のスタート



「リーダーシップの発揮」

異年齢集団「たてわり班活動」



「全校オリエンテーリング」

異年齢集団「たてわり班活動」



「めあてをもって学習活動」

見通し・振り返り学習

◆保護者・地域のみなさまの声

「の」「ざ」「と」の子を地域全員で、歴史と伝統あるこの野里小学校で、ともに健やかに育てていきましょう。